

序章 調査の概要

1. 調査の目的

沖縄県では、スポーツを活用した観光振興に取り組んでおり、平成22年に実施した「スポーツ・ツーリズム推進事業」の中で、サッカーキャンプの有効性が実証された。このため、県では、サッカーキャンプの集積とサッカーを活用したスポーツ・ツーリズムの振興に取り組んでいる。

このようなサッカーを生かしたスポーツ・ツーリズムの推進やサッカー振興のためには、Jリーグに加盟するクラブチームが重要であるが、現在まで県内には存在していない。Jリーグに加盟するためには、ホームスタジアムとなるJリーグ規格を満たした施設が必要であり、Jリーグ加盟を実現させる上での課題の一つとなっている。

サッカーを観光で活用すると共に、沖縄県のサッカー振興を図るという観点から、Jリーグ規格スタジアムに求められる機能を把握し、さらに健全な運営を実現するための施設のあり方について検討することを本調査の目的とする。

2. 調査の概要

(1) サッカースタジアムに係る調査

- ▶ 沖縄県内におけるサッカー関連施設の現状や付帯施設・機能の充足状況に関する情報を収集し分析する。
- ▶ Jリーグ規格要件を満たしたスタジアムの現況やサッカーキャンプの集積地の練習環境等について、運営面を含めた情報を収集し、整理分析する。また、海外における事例視察を実施する。
- ▶ 上記の課題を分析し、解決の方向性を考察する。

(2) 施設に必要な機能に係る調査

1) 施設の活用状況

- ▶ 県外・海外におけるサッカーを観光資源とした施設等について調べる。
- ▶ 県外・海外におけるサッカースタジアムの利用状況（サッカー以外の利用も含む）について調べる。

2) 沖縄において施設に必要な機能の検討

- ▶ 沖縄において、イベント等の施設利用ニーズに関する情報を収集する。
- ▶ 県外・海外の事例を元にスタジアムの付帯施設に対する必要性を調査する。

(3) 沖縄に適したサッカー関連施設のあり方

1) 調査の結果を元に沖縄に適したJリーグ規格スタジアムのあり方を提示する

- ▶ Jリーグ規格スタジアムのあり方については、複数のモデルを提示する。
- ▶ 提示にあたっては、実現に要するコスト等を試算する。
- ▶ 合わせて収入予測や施設の管理運営コストの試算も含めた費用対効果及び経済効果の検証を行う。

3. 調査のフロー

